

〈生涯学習について〉

令和7年度(第3回)県政モニターアンケート集計結果

人づくり・県民生活部 私学振興・青少年育成局 青少年政策課

○調査の目的

近年、少子高齢化による労働力人口の減少、科学技術の高度化や経済のグローバル化など、社会や経済が大きく変化し、私たちがいきいきとした生活を営むためには、これまでの趣味・教養や知識の習得だけでなく、職業上の能力を経済的に高めていくことや地域社会の課題に地域で対応できる能力を身につけることが必要です。

このように、社会の変化にともなって生涯学習に求められるものも変わっていく中、更に生涯学習を推進していくための施策検討のため、生涯学習に関する皆さんの現状やご意見をお伺いし、参考とさせていただくものです。

○調査期間

令和7年9月9日～10月5日

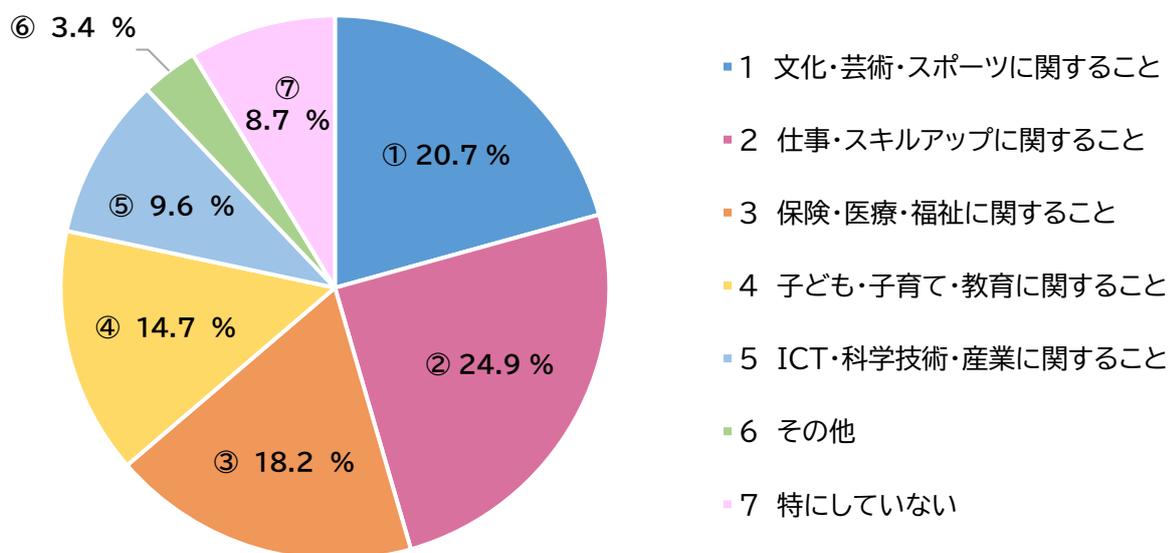
○調査人数

366人

※生涯学習とは、人々が自発的意思に基づいて、「自己の充実」、「生活の向上」、「職業能力の向上」のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習のことです。

※集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合があります。

問1 この1年間に次のような学習をしたことがありますか。(複数回答可)



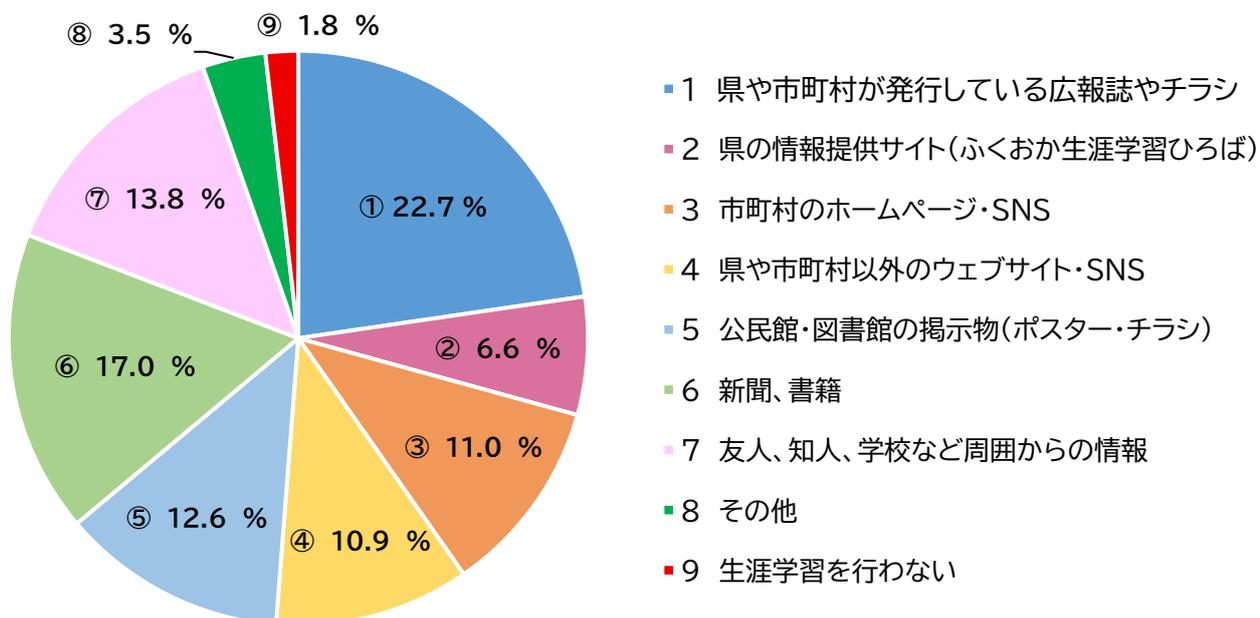
(n=716)

項目	回答数(件)	割合(%)
1 文化・芸術・スポーツに関すること	148	20.7
2 仕事・スキルアップに関すること	178	24.9
3 保険・医療・福祉に関すること	130	18.2
4 子ども・子育て・教育に関すること	105	14.7
5 ICT・科学技術・産業に関すること	69	9.6
6 その他	24	3.4
7 特にしていない	62	8.7

その他回答(抜粋)

- 金融・経済に関すること
- 手話の学習
- ジェンダーや対人コミュニケーションに関するもの
- 防災・減災・避難所運営・ジェンダーの視点・アドボカシー
- 英語 英会話
- 栄養について
- FX、資産運用に関すること
- 土地や建物に関する学習
- 心理学やコーチング
- 差別について

問 2 生涯学習を行う場合、どのように情報を入手していますか。(複数回答可)



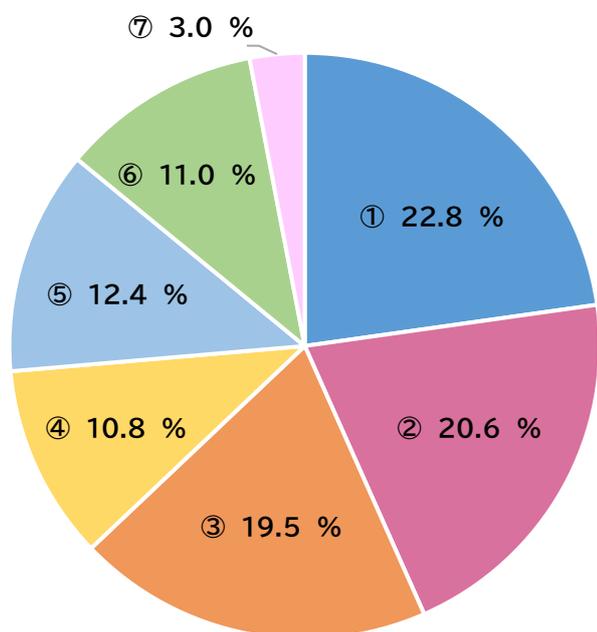
(n=935)

項目	回答数(件)	割合(%)
1 県や市町村が発行している広報誌やチラシ	212	22.7
2 県の情報提供サイト(ふくおか生涯学習ひろば)	62	6.6
3 市町村のホームページ・SNS	103	11.0
4 県や市町村以外のウェブサイト・SNS	102	10.9
5 公民館・図書館の掲示物(ポスター・チラシ)	118	12.6
6 新聞、書籍	159	17.0
7 友人、知人、学校など周囲からの情報	129	13.8
8 その他	33	3.5
9 生涯学習を行わない	17	1.8

その他回答(抜粋)

- NHK ラジオで興味のあるものを聴きつつ、テキストを購入することがある。
- 放送大学に在籍。幅広くいろんなテーマで学習。

問3 今後学習を行う場合、どのような講座に参加したいと思いますか。(複数回答可)

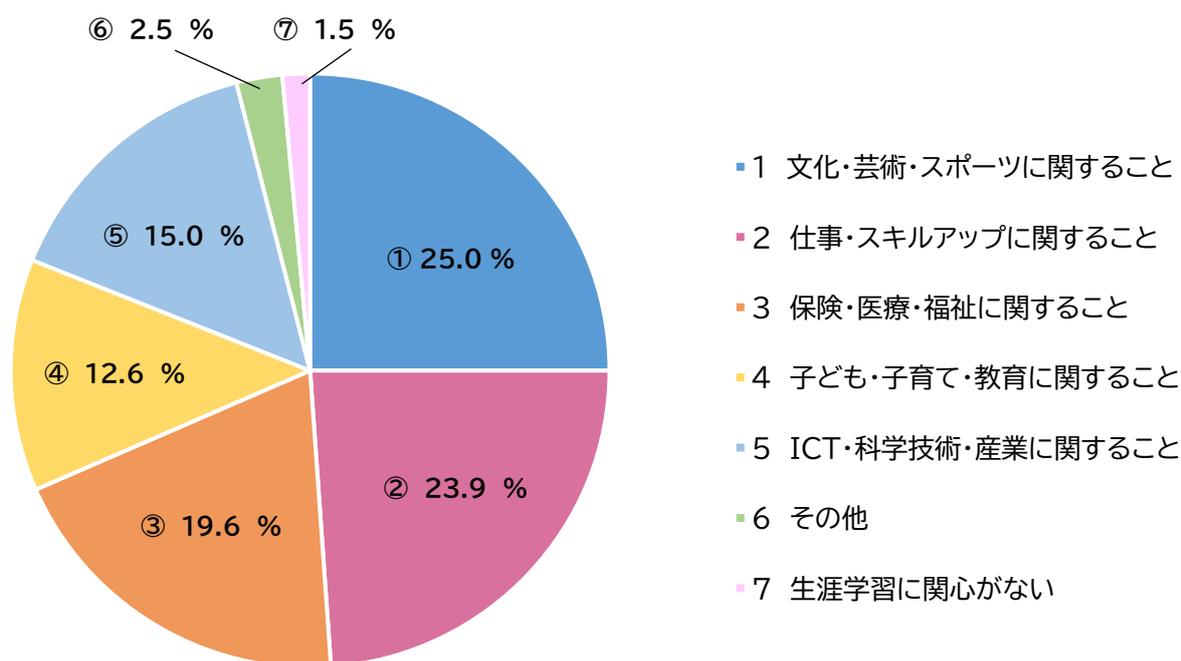


- 1 公民館など公的な機関が開催する講座
- 2 大学などの公開講座
- 3 工場見学・モノづくり体験など企業の専門性を生かした講座
- 4 NPO・ボランティア団体などが開催する講座や体験活動
- 5 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどの講座、教室
- 6 通信教育や放送大学の講座
- 7 特に参加したいと思わない

(n=800)

項目	回答数(件)	割合(%)
1 公民館など公的な機関が開催する講座	182	22.8
2 大学などの公開講座	165	20.6
3 工場見学・モノづくり体験など企業の専門性を生かした講座	156	19.5
4 NPO・ボランティア団体などが開催する講座や体験活動	86	10.8
5 民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどの講座、教室	99	12.4
6 通信教育や放送大学の講座	88	11.0
7 特に参加したいと思わない	24	3.0

問4 今後学習を行う場合、どのようなことを学びたいと思いますか。(複数回答可)



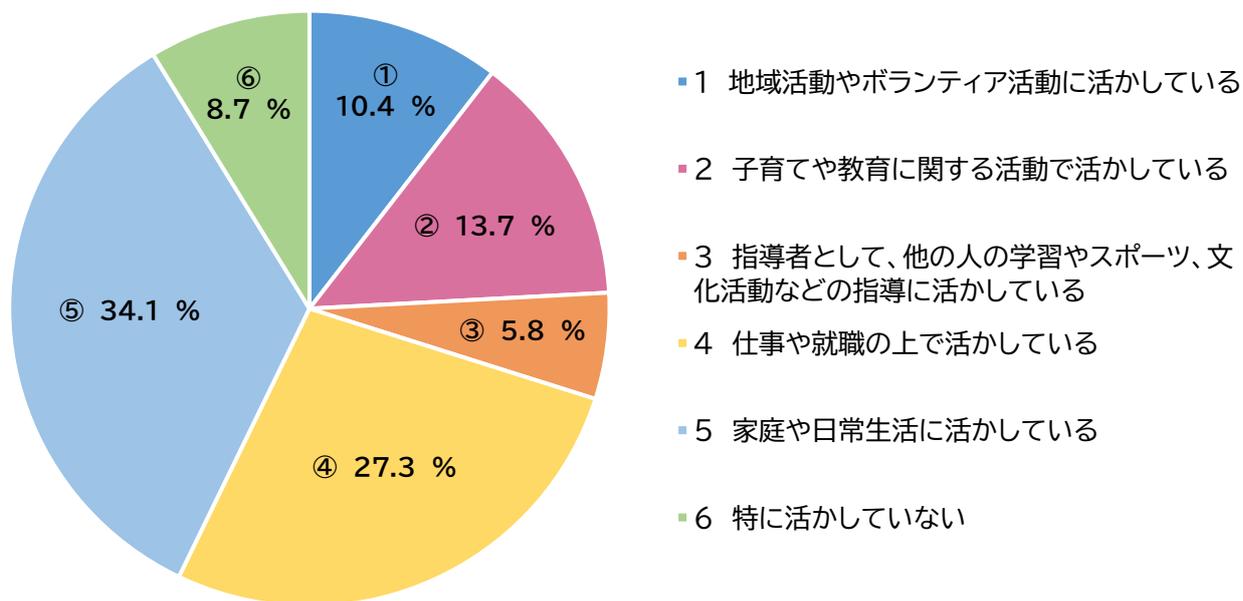
(n=808)

項目	回答数(件)	割合(%)
1 文化・芸術・スポーツに関すること	202	25.0
2 仕事・スキルアップに関すること	193	23.9
3 保険・医療・福祉に関すること	158	19.6
4 子ども・子育て・教育に関すること	102	12.6
5 ICT・科学技術・産業に関すること	121	15.0
6 その他	20	2.5
7 生涯学習に関心がない	12	1.5

その他回答(抜粋)

- 地域活動
- 語学
- 経済・金融に関すること
- ジェンダー、対人コミュニケーションなど
- 株や投資など資産運用に関すること
- 物理学、天文学、数学、宗教学、哲学
- 脳活、脳トレの認知症対策
- インターネット関係、パソコンの便利な使い方など

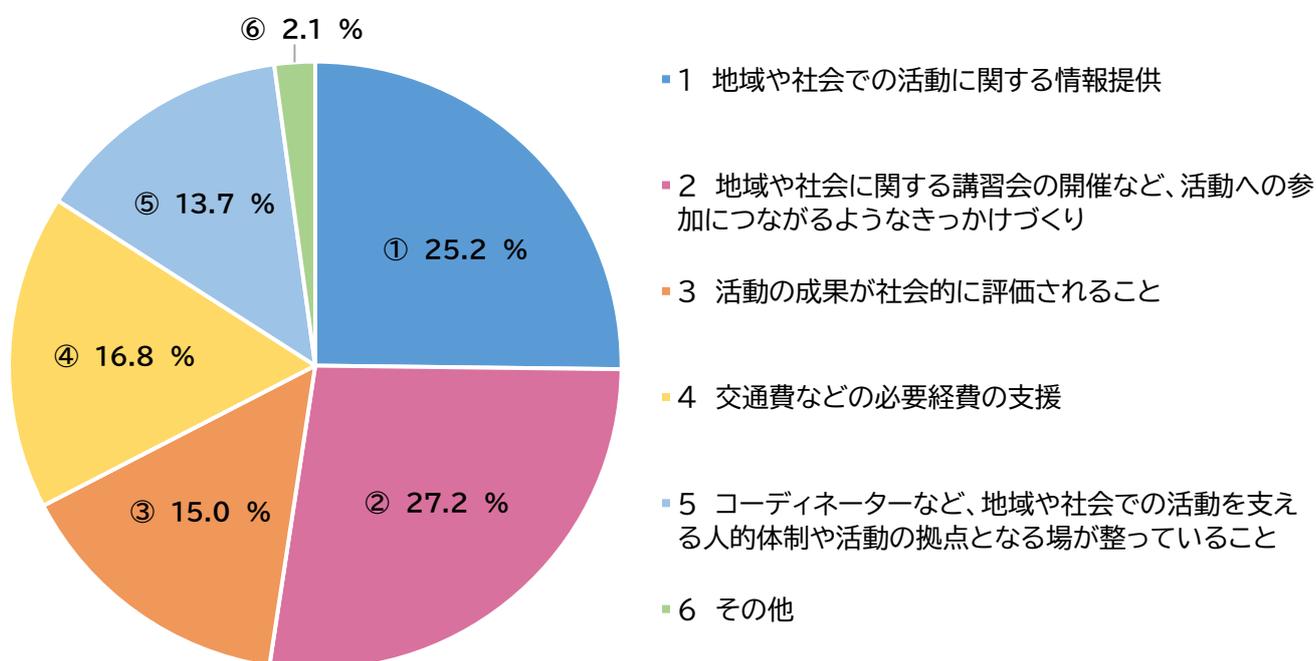
問 5 学習によって身につけた知識・技能や資格をどのように活かしていますか。(複数回答可)



(n=642)

項目	回答数(件)	割合(%)
1 地域活動やボランティア活動に活かしている	67	10.4
2 子育てや教育に関する活動で活かしている	88	13.7
3 指導者として、他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている	37	5.8
4 仕事や就職の上で活かしている	175	27.3
5 家庭や日常生活に活かしている	219	34.1
6 特に活かしていない	56	8.7

問 6 多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)



(n=794)

項目	回答数(件)	割合(%)
1 地域や社会での活動に関する情報提供	200	25.2
2 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり	216	27.2
3 活動の成果が社会的に評価されること	119	15.0
4 交通費などの必要経費の支援	133	16.8
5 コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること	109	13.7
6 その他	17	2.1

その他回答(抜粋)

- やっていて、楽しい、という気持ち
- オンラインで自宅でも参加できるとありがたい。
- 自治体職員が柔軟で協力的な資質であること
- 時間的・経済的な負担を軽減する工夫
- 子育て世帯や働き盛り世代でも参加しやすいよう、平日夜やオンラインでの学習・交流の場を設ける。託児サービスなど、参加へのハードルを下げる仕組みを整える。

- 働きやすい環境であることが何より大切だと考える。
- 子育てをしながら仕事や地域貢献にも取り組みたいと思っているが、希望する勤務時間と募集されている勤務時間との間に、常にミスマッチを感じている。
- 人と接するのが苦手なのでネットなどを介して何かできればいいと思う。
- 文字だけでなく、SNS や動画で場の雰囲気が伝わる情報が欲しい。
- 身近な人や信頼できる人からの声かけ。特にお年寄りは自分から情報を得ることが少ないと思うので、身近な人からのアプローチが必要だと思う。
- 気軽に参加できる場作り。友人と一緒にとこだったら参加しやすい。
- 実際に一人で講習会などに行くのは勇気があるため、街頭や公園でイベントのような形があると、多くの人に知ってもらいきっかけになるし、一歩目を踏み出しやすいと思う。
- 子育て世代は、託児サービスなどがあれば参加できる。
- 地域社会とのつながり

問 7 生涯学習について、これまでの設問以外に意見はありますか。

○地域貢献・地域社会との関わり

性別	年齢	回答
女性	50代	<p>生涯学習については、狭く考えれば趣味の延長の感覚です。仕事につながるものもあれば、生きがいづくりのようなものなのではないでしょうか。広い考えでは、社会に貢献できるものであるのがいいのかもしれませんが。退職してから思うことは、当初、パソコン教室でスキルをアップさせて、社会に置いて行かれないようにと考えていましたが、実際は、そのものをフルに使うこともないこと、交通費も収入があるわけではないので、自力で通える範囲だったり、自宅で学習できるものでいいと思うようになりました。他者とのかかわりは減少しています。</p> <p>また、年齢によって、生活様式自体が変わっていくので、必ずしも生涯学習といえるものを続けているのだろうかとも思っています。</p> <p>でも、大まかに見て、何かしら、世の中に関連するものを学習しているのだと、上記の質問で気が付きました。</p>
女性	50代	<p>地域や社会とのつながりがなくなることはどの世代にもマイナスでしかないと思っているので、楽しみながら生涯学習ができ、自然と社会や地域とのつながりがもてるような社会の仕組みにしてほしい。</p>
男性	30代	<p>生涯学習に興味を持つ県民同士の横のつながりが欲しいです。 (コミュニケーションの場の提供など)</p>
男性	40代	<p>大多数の高齢者が参加できる地域の取り組みが必要だと思う。 地域のつながりがなくなってきている。ラジオ体操がない地域もある。地域の運動会やお祭りなども縮小、無くなっているところもある。</p>
女性	60代	<p>生涯学習をしてみようと思える、地域の仲間や声をかけて一緒に学びたいと思える人材が大切だと思う。</p>
女性	40代	<p>公民館などの公共の施設をより充実させる。お年寄りだけでなく、子どもたちにも地域の人にも開かれた場所にする。 特に、公共の畑や大作業ができる場所を提供し、お年寄りのスキルを子供達や他の世代に伝えていくようなことをすれば、お年寄りの人材の活用、またお年寄りの認知機能、世代を超えた人との関わりが増え、各家族の子供達にもいい影響があるはず。</p>
女性	40代	<p>高齢になればなるほど生涯教育は大事。そういった、生活の中で関わる人が何人いるかは大事。</p>

○生涯学習機会・環境について

性別	年齢	回答
女性	30代	公民館での開催や市などの講座は、お年寄りが多い、少し堅苦しい、なんとなく暗いというか静かなイメージがあり、参加するのを躊躇うことがあります。また、市政だよりは興味が無いと目を通さないし、県や市の SNS もフォローしていない人が多いと思います。参加しやすい雰囲気や、もっと認知できる広告など発信があるといいかなと思います。
男性	50代	具体的にどういうことを学習できるのかを示してもらえれば、もっと意欲が湧いてくると思う。
女性	60代	公民館等で数年前まで受講していましたが、ほぼなくなり、低料金で受講できる講座をもっと増やして欲しいです。
男性	70代以上	生涯学習として図書館の存在は大きいと思いますが、交通機関の不便さ、駐車場があっても時間制限があったり、スペースも狭く不便を感じます。
男性	60代	やりたい気持ちはあるんだけど、年取ると学習することが億劫になってしまってます。気軽に手軽に取り組めればよいなあと思いました。
男性	60代	自分や家族に直結するような内容の講座を受けたいと思ってますが、中々見つけることができません。「あなたに合った内容はこれではないですか？」と自分に分かるようなツールを作って欲しい。
女性	30代	多くの方が地域や社会への活動に参加するようにするための提案ですが、お祭りやマルシェ等のトレンドの催し物で、地域住民(特に若い世代)の興味関心をひくことから始めるのが最初の一步だと思います。実際に、今年度から私達夫婦で町内会の役員を引き受け、0歳と2歳児を育てながらではあるものの、夏祭りを主催し近所の普通の公園にも関わらず900人をこえる来場者数を確保して成功させることができました。その中で、町内会活動をPRし、実際に活動に興味をもって今後もボランティアとして協力したいと申し出ていただいた方が想像以上に多く、さらには町内会に新規加入を検討したいと話して下さった方もいました。そのような成功体験を根拠に、この提案が効果的であることをお伝えしたく記載いたしました。
女性	60代	移動手段が主に車。 公共交通機関が、ないところは、歳を取ったら、そこがネックになると思う。
男性	50代	個人で好きにすれば良いと思う。 ただ、県の施設で色々なカルチャー教室があるのは、生活以外の人間関係を維持する上で意味があると思うので孤独死などを防ぐ意味では出来れば高齢者などが参加できるようなものが増えたら良いのかも知れない。

女性	60代	学びたい意欲はあるが、出かけて行くには交通の便が良くなかったり、夏は熱中症の危険があったりして申し込めない。オンライン講座にさせていただき、県内各地の講座に参加できれば嬉しいです。
男性	30代	大人になって「目の前の現実をどうにかしたい」という思いから、問題解決に向けて学習している人も私の周りにもいます。何をどうやって学んでいくのかの基本がある人となない人では差がついていく印象があるので、その人自身が今抱えている問題にアプローチできる学習スタイルの確立に向けて客観的なフィードバックを与えてくれるものがあるといいのではないかと。
女性	60代	無料講座を沢山開催してほしい。
男性	60代	マンションなどの集合住宅が増え、町内会や市民センター・公民館を基盤とした地域活動が行いにくい状況にあるので、新たな枠組みの新設や既存の枠組みに対する発想の転換が必要ではないでしょうか。
女性	50代	開催場所まで行くのに時間や費用がかかると、なかなか始められないので、オンラインで参加できるものが増えるとうれしい。
男性	50代	開催日が平日が多い。仕事を休んで行くことは難しい。
男性	40代	とにかくまだまだ「お母さん向け〇〇セミナー」や「ママさん向けマーケティング講座」などが多いです。もう令和なので、共働きが当たり前ですし、男性だって育休が取れる時代です。男性”も”参加できるようにもっともっと取り計らってください。
男性	40代	学ぶ意欲がある人はお金を払ってでも自ら探して継続している。問題は、経済的余裕がない人をどうやって参画させるかだと考える。
女性	50代	学習はしたいですけど、お金はそんなにかげられません。広報については、皆の目につくバス、地下鉄、スーパー、公民館などがいいかなと思います。
女性	60代	アミカス等公的機関で行きやすい場所でのワークショップの開催を希望します。

男性	40代	<p>子育てをしていると、「学びたい」「地域の活動に関わりたい」という気持ちはあっても、なかなか時間や環境の制約があって難しいのが現実です。だからこそ、生涯学習や地域活動に、子育て世代でも気軽に参加できる工夫があると嬉しいなと思います。</p> <p>例えば、子どもと一緒に参加できる講座や、活動の場にちょっとした「子どもスペース」があると安心ですし、地域の方が見守ってくださる仕組みがあると参加しやすくなります。オンラインや録画視聴など、すき間時間に学べる方法もとても助かります。</p> <p>また、学んだことを地域に活かせる場があると、学びが「自分のため」だけでなく「地域や子どものため」にもつながっていくのを実感できると思います。例えば、子育ての経験を活かして地域の子どもや保護者をサポートしたり、得意なことを小さな講座としてシェアできる機会があると嬉しいです。</p> <p>活動や学びの成果が地域の中で紹介されたり、感謝の声が届くと、「またやってみよう」と思えるきっかけになります。子どもにとっても、親が楽しそうに学んだり地域に関わったりする姿を見ることは、大きな学びになるはずですよ。</p> <p>子育て世代が無理なく小さな一歩を踏み出せる仕組みがあれば、もっとたくさんの人が自然に地域や社会とつながり、生涯学習を生活の中で楽しめると思います。</p>
男性	50代	<p>リスキリングに当たる学習と生涯学習に当たる学習との境目が曖昧になっている気がしており、生涯学習と思っていたイベントが、想像より専門性が高く、リスキリングを目指す受講者として扱われることで若干戸惑いを感じるような機会があると思います。講座内容のシラバス等、事前にどのような教育内容であるのかを開示することは、今後より重要になると考えられます。講師の質の保証についても、一定の水準を満たしているという表示等がないと、玉石混交の状況となり、生涯教育の提供側と需要側の認識ギャップが深刻化する可能性があると思います。</p>
女性	40代	<p>県民市民だよりに情報がありますが、平日が多く参加することができません。</p>
女性	60代	<p>複数回や年間通してでなく単発的な講座など参加しやすいよう工夫して欲しい。日常できないことが体験できるといいと思う。</p>
女性	60代	<p>気軽に参加できる会や講演会などがあると良い。</p>

男性	60代	<p>60歳の定年退職後、何もしないのもだめだと思い生涯学習に取り組んでいます。定期的なスケジュールに則って学習することで、規則正しい生活も続きますし、何より脳に刺激を与えていることがいいのではないかと感じています。</p> <p>もっと若い世代からより多くの学習の場を提供することで、のちに県に帰ってくると思います。そのためにはせっかくいろんな活動の場、活動団体等ありますので広報に力を入れてほしいと思います。(私自身は自らSNSで調べましたがもっと簡単に目にかかるような工夫があればいいと思います。TV、ネットでの県の広告等)</p>
女性	50代	<p>それほど興味が無くても、気軽に参加出来る場があれば良いと思います。</p>
女性	30代	<p>開催講座が基本的に平日で会社員だと興味があっても参加できないものが多い。全く対象にしていないのはどうかと思う。単発でも良いので土日開催を増やすべきだと思う。</p>
女性	50代	<p>コミュニティセンター等で興味のある講座が平日昼間開催のため、夜間や土日も選択肢があればいいなと思った事があります。</p>
男性	60代	<p>地域の生涯学習センターで言えば、利用者の年齢層が高齢層に偏りがちで、若年層や現役世代(子育て世代、勤労者)の利用が少ないと感じる。多様な世代のニーズに合ったプログラムの提供や、幅広い世代が参加しやすい時間設定(仕事や家事の合間に参加できる工夫)が必要だと思う。</p>
女性	50代	<p>時間やスペースの問題もあって、学びたい気持ちはあってもなかなか行動に移せないこともあります。もっと気軽に参加できるオンライン講座や、生活の中で自然に学べる仕組みが増えると嬉しいです。</p>
女性	60代	<p>学習しようと思っても具体的にどこで何をしてるかよくわからない。また、市や区によっても学べる場所の数にばらつきがある気がする。</p>
女性	40代	<p>平日昼間の開催が多すぎる。生涯学習の対象が全年代なのであれば、平日夕方や土日にも開催すべきである。</p>
女性	20代	<p>休日の参加しやすい日に開催する事が必要だと思う。</p>

女性	30代	生涯学習を行うことでのメリットが具体的に示されるとより興味を持ちやすかったり、身近に感じる事が出来るのではないかと思います。年齢や世代別、内容別などロールモデルがあると、より身近に感じる事が出来、興味をもつきっかけになるのではと思いました。また、家族と一緒に取り組めるような機会を設けてみると面白いと思います。例えば、親子で行う場合、子供の年齢が未就学児・小中学生と保護者や、高齢の親と成人の子供など様々な年齢や世代と一緒に参加したり取り組めることで、共通の内容を共有することで、生涯学習を行うことでもたらされる効果や意味合いを持つ事が出来るのではと思います。また、一人では無いく一緒に継続して参加や取り組みやすくなるのではないかと思います。
男性	40代	今の時代、学びたいものを、学びたいタイミングで自分の都合で学習がふえていると思います。通信教育や動画学習が増えたらいいと思います。
男性	20代	地域や社会での活動に関する情報提供は市報などを通じて見てはいるが、税金によって運営している市報や町報には「まちの掲示板」としての機能を付与してもよいように思う。市民の載せたい内容を投書として出したうえで、それが公序良俗に反しない限り、(時の政策批判であったとしても)掲載するべきであると思う。しかし紙面には限りがあるため、抽選などで掲載可否を決めるなどの方法はとっても良いと思う。 そうした言論空間の中で生涯学習や、地域での市民活動が醸成されるものとする。
女性	60代	県が行う講演会などを郡部でも開催してほしい。
女性	30代	語学を学びたいけど経済的に厳しいです。 外国人には日本語を学ぶ場が無料で提供されていたり、支援があるのに、多様性を強調するなら交流するためにも日本人に対してもっとそういう支援があってもいいと思う。
男性	40代	地域活動を積極的に行う人が高齢化していく中で、地元の若い世代のリーダー的な役割を担う人が圧倒的に少ない。私の住む嘉麻市でも地域活動の活発な地域とそうでない地域が分かれており、活発な地域であっても若年層のリーダー的役割の人が少ないように感じています。「日中は仕事がある」「自分の生活でいっぱい」「暇つぶい」など理由は考えられるが、地元への郷土愛が薄れていることなども一つの要因だと感じています。若年層が参加したいと思えるイベントを企画しながらその中で協力してもらえそうな人をピックアップできる仕組み作りなどが必要だと感じます。
女性	40代	地域食堂などの利用で公民館を利用される方が様々な年代でおられるので、そこで情報提供したり参加のお声かけをするのは効果があるのではないかと思います。

女性	40代	年をとっても、勉強したい時に勉強できる環境がほしい。安価で、誰でも大学の授業が受けられるとか、大学の先生が出前講座をしてくれるとか、地域のお医者様が公民館でお話ししてくれるなど、身近で勉強できる機会がほしい。講座がチラシや冊子になっていつでも見れたらいいなと思います。
女性	60代	アンケートをとるなどして、多くの人が望む講座を無料で設けていただけると有難いです。
男性	30代	宅建などのスキルを学ぶ場が欲しい。ないこともないが 例えば 18 時からとかでは働きながらの人は難しいので、19 時 30 分からとか、土日とかを検討してほしい。 地域の独居老人の交流の場は、認知機能維持などの面でも大切と思う。 老人は、こちらから出向いて情報提供しに行かないと、情報を自分からとりに行こうとかは思わない。 地域のスーパーに、やってきた老人を対象に説明するなどのきっかけが大切。

○生涯学習講座・イベント内容について

性別	年齢	回答
男性	60代	地域での歴史やイベントなど、関係したものが増えれば良いと思う。
男性	50代	自分の趣味や特技に関する学習内容だけでなく資格取得につながるような講座など幅広い内容がセッティングされていると良いと思う。
男性	70代以上	私立大学の通信教育部では、パソコンで講義を行う場合があり利用するのも面白いと感じている。公立大学でもあれば講義を聴きたい。
男性	70代以上	大学の生涯学習とか公民館でのサークルに参加したいと思うのですが、ピンとくるような学習がない。 参加してみないとその良さが解からないとも思うのですが一歩踏み込む事ができない自分があるのも確かなのですが。
女性	70代以上	魅力的な講座を開いてほしいです。

男性	70代以上	独居高齢者が増加しているので、とくに高齢男性向けの簡単料理教室が開催されると良いと思う。
女性	30代	高齢者向けのものが多いし若い主婦には参加しづらいものが多い。年代やターゲットをしぼったものの方が同じ感覚の人と一緒に活動できそうで参加しやすいです。
女性	50代	安価で資格取得が出来るような教室を推進してほしい。 楽しむことはとてもよいが、それだけで終わるのはもったいない。例えば、フラワーアレンジメントの資格取得など国や市町村からのたくさん助成があれば低所得の方々も社会でより活躍出来ると思う。

○関係機関との連携

性別	年齢	回答
女性	30代	大半の人が就労しているので、仕事に活かせるものや評価されるもの(履歴書に書けるような)で行政が主催共催されてるものが増えるといいなと思います。
男性	40代	市町村が生涯学習の環境を整えることは、住民の学び直しや趣味・交流の場を広げ、地域の活力や人とのつながりを生む点で非常に意義がある。特に福岡のように大学や文化施設が多く、歴史や伝統芸能に触れられる地域では、行政がその橋渡し役を担うことで学習機会がさらに広がり、地域の魅力や人材育成にもつながると思う。
男性	30代	漫画や映像作品等、多数のエンタメを紹介や利用してみてもどうか、経済や生涯学習の面から見てもコスパがよいのではと思います。福岡県出身の漫画家の紹介等。県政に対しても斬新で新しい試みかと思っています。

○学習成果の活用

性別	年齢	回答
女性	40代	様々な理由で仕事を持っていない人でも、学習や経験を続け、活かしたいと思っている人たちもいます。そのような人たちが直接でなくても、例えば直接的な活動している人たちに経験・知識・意見を伝えられる場があれば、みんなが活性化し地域に貢献でき、自信にもつながるかと思っています。
女性	60代	学んだ事をさらに活かせる場所を提供して欲しい。

女性	40代	仕事に繋げていけたらいいなと思います。
男性	60代	学習成果で地域や社会に貢献できる、即ち生涯現役のシナリオが描けていると、特に高齢者からの積極的な参加が期待できると思う。

○行政に望む施策・支援

性別	年齢	回答
女性	60代	参加しようとしても参加費用でくじけてしまう。一挙に無料にする度量を地方自治体にはもっていただきたい。
男性	30代	<p>学習や地域活動を促進するためには、まず市民に経済的・時間的な余裕を確保することが必要不可欠です。生涯学習は、本来ある程度の生活の豊かさの上に成り立つものであり、それは、“贅沢な行為”とも言えます。そのため、経済的に余裕のない人にも学びの機会をどう提供していくかが、大きな課題です。</p> <p>いくら学習意欲・成長意欲があっても、日々の生活に追われていては、学習や地域活動への参加は難しくなります。また、努力して学んだとしても、それが直ちに賃金上昇や生活改善につながるわけではないのが現実です。そんなに簡単なら勉強熱心で仕事の効率化を行ってきた日本だけが不景気になるわけがありません。社会全体の経済が冷え込んでいる中では、努力が報われにくいという構造的問題も無視できません。</p> <p>したがって、「学ぶことが生活の豊かさに直結する社会の実現」こそが、生涯学習推進の土台になるべきです。行政が取り組むべきは、県民が安心して学びに取り組めるよう、可処分所得の増加・労働時間の短縮などを通じて、金銭的・時間的余裕を創出する政策です。これに加え、経済の好循環を生む取り組みが必要であり、それなくして学習支援は形骸化してしまいます。</p> <p>もしこの本質を軽視すれば、学び意欲のある人材や、努力して技術を身につけた人たちは、他国に流出するリスクすらあります。それでは地域社会の衰退を招くだけです。生涯学習を本気で推進するのであれば、まず社会構造全体の改革とともに進めるべきです。</p>

女性	50代	地域に住む高齢者が多く活躍している、地域に住む外国人のための『日本語教室』で活動している。外国人の方々との交流は、高齢者の生きがい作りや地域の外国人に対する理解の促進など様々な利点がある一方、ボランティアの責務が重く、教材作りや交通費、ボランティア保険の負担など、全て持ち出しである。日々ボランティア間や外国人との間での学習を産む場でもあるので、こういった場に予算をつけて欲しい。
----	-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○その他

性別	年齢	回答
男性	60代	いろんな人との交流で精神を活性化し、動くことで肉体的にも老化を防ぎ、それに加えて生きがいや楽しみにつながっていくことが理想と考える。
女性	40代	若い頃は年を取って時間が出来て楽しくするというイメージがありましたが、永年続けるのに今は年相応に必要性を感じました。
女性	20代	学習をするための気力を失っている人が多いと感じます。学習するための、時間・お金・体力などが大幅に不足しており、日々の可処分時間を惰性で過ごしている状態の人が多く肌で感じています。そもそもの豊かな社会づくりはもちろんですが、仕事や学校で学ぶもの以外の自由な分野での生涯学習の必要性や豊かさを学校や仕事の場でも認めていく。社会的に学習の時間を作るという取り組みが必要になってくるのではないのでしょうか？
男性	30代	私個人で、本業：機械設計・副業：動画制作(YouTube)をしております。 こういったスキルから、個人でスキルの活かせる副業をしております。 ですが、副業を探す際に求人などに載ってない、知人からの紹介などで仕事をもらったりします。 県としても、生涯学習で身につけたスキルが即活かせるように、求人紹介などあれば良いなと思います。
男性	40代	教える側の支援(謝礼等)も充実して欲しい。 そうすれば講座の質も上がってくる。
男性	40代	自己成長や社会参加を促す大切な活動だと思う。知識や技能を磨き続けることで、生活の質を高め、変化の多い時代にも柔軟に対応できると思います。

男性	60代	生涯学習は必要だと思うが、最初から成果を求めるとなかなか難しい。個人が知的好奇心や教養を深め、まず自らの成長を感じることができれば良しとした方がいいのではないかなと思う。そのような生涯学習を積み重ねることで、やがて成果を生かすようなことにつながっていくと思う。
男性	40代	学習は大事なのだが、学習の前に生活なので、それをやるための余暇や資金などのほうが問題になることが多いと感じる。機会こそ均等だとしても、余裕がある人しかできないものになってしまうのは良くないと感じる。
男性	30代	シニア層はある程度時間や経済的な余裕から生涯学習に取り組みやすい環境にあるかと思いますが、多くの方はやはり時間的余裕、経済的余裕、社会的な安定感などある程度の心とカラダと暮らしの余裕がないと生涯学習へは意識が向かないと思います。 生涯学習が大事な取り組みであることは間違いないですが、もう少し社会の不安定さ不安感を取り除くことを優先した方が良いのではないのでしょうか。
男性	60代	幾つになっても学ぶことは大切であると考えています。
女性	40代	公民館など案内でもサークルや活動が具体期に知れるのは良いと思います。 やってみたい、気になるという気持ちが繋がっていくとよいなと思います。
女性	30代	興味を持つことは大切だと思う。学習をやめてしまったら、知能の低下、認知能力の低下にも繋がると思う。年配の方々に積極的に参加してもらいたいと思います。
女性	40代	自分のスキルを高めるための生涯学習はイメージしやすいが、地域の活動に活かすというのはどのようなことがあるのか具体例がよくわからない。職業としてなのか、ボランティアなのかによっても学習の取り組み方が違ってくると思う。
男性	40代	医療機関に勤めている為、医療関係、福祉関係の講座によく出席しています。市民向けにも様々な講座があっており、良いなと感じています。
男性	30代	生涯学習は、退職した年配の方がするイメージがあります。お金と時間に余裕がないと中々できないのが現実だと思います。社会人が仕事を休職等して大学院に進学しても給料も上がらないし、評価もされません。つまり、スキルアップしても活かす場が少ないのもまた現実です。副業禁止を禁止して、個々のスキルで稼ぎやすい社会を築くことが大切だと思います。

女性	50代	<p>生涯学習は、年齢問わず自分の関心に合わせて学び続けることができる大切な取り組みだと思います。学校教育が終わってからも、地域や社会の中で新しい知識や技術を身に着けることは、自己成長や生きがいにつながります。</p> <p>例えば、健康や労災、環境といった生活に直結する分野を学ぶことで、日常生活をより安心で豊かなものにできますし、趣味や文化活動を通じて仲間と交流し、なによりもつながりを深めることができると思います。また、オンライン学習の広がりにより、場所や時間にとらわれず、自分のペースで学べる環境が整いつつあり、誰もが参加しやすくなっていることも魅力の一つです。すべての人が無理なく、取り組める学びの場を充実させることが、社会全体の活力向上にもつながるといえるのではないのでしょうか。</p>
男性	60代	<p>自分で学ぼうとする気持ちが大切。人に教えてもらうという受け身では続かないと思うし、向上しない。ひとりで学べる仕組みが理想。</p>
女性	40代	<p>仕事や家事、育児、介護に追われて、生涯学習どころではない方が多いのではないだろうか。</p> <p>自分の生活にゆとりがないと生涯学習どころではない。時間、経済ともにゆとりがある生活ができている人が趣味を持ち、勉強を続ける事ができている。</p>
女性	30代	<p>県内にも各市町村でいくつか生涯学習センターを見かけるが、必要性の有無を問いたい。建設費用維持管理費含めて、本当に必要だろうか。</p>
男性	60代	<p>図書の閲覧等だけの場としての図書館でなく、集い、学び、過ごす場というコンセプトで運営していただきたいと思います。</p>
男性	30代	<p>学習の必要性を感じている人は年々感覚的に増えているが、フルで仕事をしている層はなかなか時間的余裕がないだろうと思う。</p>
女性	60代	<p>公民館での、健康料理教室に参加しているが、初めて会った人とも話など情報交換ができて良い経験になるし、食事にも気をつけてようと思う。</p>

女性	60代	<p>現在、年齢的なことを考えると、今後の私の関心のある学びは「文化・芸術・地域歴史」に関することです。仕事に直結する中身や何かの活動に生かせる中身は、あまり期待も関心もないかなあと思います。自分自身の残りの時間を充実できることが、やはり最優先。その延長線上に「他者の役に立てれば」的な活動はあります。「孤独老人」にならないためにも、様々な所で「学習」できることは必要であり、行政が率先してその場を提供してくれることには賛成です。ただし、「ボランティアをしましょう」ありきの講座などは、二の足を踏むケースが多いように思います。</p>
女性	40代	<p>1.託児サービスや親子参加型プログラムの充実 小さな子どもを持つ親にとって、学びの機会があっても「子どもを預けられない」ことが大きな壁になっています。 会場に一時預かり保育を併設したり、親子で一緒に参加できるワークショップを企画することで、参加ハードルが下がります。</p> <p>2.オンライン・ハイブリッド形式の拡充 移動や時間の制約が大きい子育て世代には、自宅から参加できるオンライン講座が有効です。 特に録画配信やオンデマンド型を導入すれば、授乳や寝かしつけの合間などに柔軟に学べます。</p> <p>3.短時間・モジュール型プログラムの導入 長時間拘束される学習会は参加が難しいため、30分～1時間程度のミニ講座やシリーズ化した短期コースが望ましいです。</p> <p>4.テーマの多様化(子育て世代に直結する内容) 育児や教育、家計管理、キャリア形成、健康(心身のセルフケア)など、子育て世代のニーズに即したテーマを取り入れることが参加意欲につながります。</p> <p>5.地域交流と学びの融合 生涯学習を通じて、同世代の親同士がつながれるような仕組み(交流会、カフェ形式、SNSでのフォローアップ)を取り入れると、孤立感の解消にも寄与します。</p> <p>6.行政・企業・教育機関の連携 行政が主催するだけでなく、大学や地元企業、NPOなどと協力して幅広いプログラムを提供すれば、多彩な学びの場が広がります。</p>



「学び」の情報をお探しのあなたへ！

「ふくおか生涯学習ひろば」で 新たな学びをみつけてみませんか？

学びでつながる みんなの未来
ふくおか生涯学習ひろば
福岡県生涯学習情報提供サイト

初めて利用される方へ
情報発信！
学習情報の発信(登録・更新)はこちらから

音声読み上げ
文字サイズ 小 標準 大

サイト内検索 検索

HOME 学ぶ 活かす 活動レポート お役立ち情報 お知らせ

生涯学習マスコット「マナビィ」

NEW

最新!!
学びの最新情報

お知らせ NEWS [一覧はこちら >](#)

- 2026年1月7日
【福岡県立社会教育総合センター】子育てWEB講座「学童期編」（ふくおか子育てパーク）
- 2025年12月25日
福岡県内市町村の生涯学習推進体制等に関する情報を掲載しました。
- 2025年11月20日
【九州歴史資料館】令和7年度九歴講座（12月～3月）・九歴ゼミのご案内
- 2025年11月11日
【福岡県立社会教育総合センター】子育てWEB講座「乳幼児期編」（ふくおか子育てパーク）

条件を絞って検索できます！

学ぶ LEARN

学びをさがす SEARCH

最新！学びの最新情報

紹介コーナー（活動・講座）

NEW!

花育キッズ

2/14 (土)

開催日：2026年2月14日
【博多市民センター】花育キッズ

NEW!

福岡県アーバンスポーツ体験会

開催日：2026年2月15日
【飯塚市】福岡県アーバンスポーツ体験会

NEW!

あなたの研究成果を発表しませんか？

2月21日(土) 募集中!

開催日：2026年2月21日
【九州歴史資料館】ボランティア自主研究交流会

レポート

開催日：2025年5月11日
【(社)福岡県聴覚障害者協会災害対策部】

「ふくおか生涯学習ひろば」では、生涯学習に関するさまざまな情報をお届け！

- 県内の大学や県の施設等が実施している学習情報
- 様々な機関・団体のホームページとリンクして、リカレント教育(学び直し)やスキルアップ、大学の公開講座、ボランティア活動につながる情報

